

Vol.67 2026.01

Campus News

キャンパスニュース

SISTIVAL
▶ ENJOY!!



10月に開催された大学祭SISTIVALの様子

特集 1
Special feature

地域連携強化へ 新たに県内の二大学と協定締結

静岡理科大学は、より一層の地域社会への貢献を果たし、相互の発展を目指すことを目的として、県内の二大学と新たに連携協定を締結いたしました。

静岡理科大学と光産業創成大学院大学が包括連携協定を締結

静岡理科大学と光産業創成大学院大学との包括連携協定締結式



2025年10月17日(金)、静岡理科大学と光産業創成大学院大学は「包括連携に関する協定」を締結しました。締結式は静岡理科大学で行われ、両大学の学長が協定書に署名しました。

この協定により、光産業創成大学院大学が強みとする光技術を活かした研究や事業創出と、静岡理科大学の理工学・情報学分野の知見を組み合わせ、幅広い分野で協力していきます。両大学が持つノウハウや資源を共有し、地域社会への貢献をさらに高めるとともに、新しい技術や産業の創出を目指します。

い分野で協力していきます。両大学が持つノウハウや資源を共有し、地域社会への貢献をさらに高めるとともに、新しい技術や産業の創出を目指します。

静岡理科大学と静岡社会健康医学大学院大学が学術交流協定を締結



静岡理科大学と静岡社会健康医学大学院大学との学術交流に関する協定締結式

2025年11月13日(木)、静岡理科大学と静岡社会健康医学大学院大学は「学術交流に関する協定」を締結しました。締結式は静岡社会健康医学大学院大学で行われ、両大学の学長が協定書に署名しました。

この協定により、学生や教職員の交流、共同研究、教育プログラムの連携、研究設備の相互利用などを進めます。理工学と社会健康

医学を融合させることで、新しい人材育成モデルを生み出し、将来的にはヘルスケア分野での起業や地域医療のデジタル化推進など、社会に役立つ取り組みへとつなげてまいります。

特集 2
Special feature

キャンパスライフにfocus!

学生サークル

Machine Creator's Factory

Machine Creator's Factory (通称:M.C.F) では主な活動として、9月に京都で開催されるキャチロボバトルコンテストや3月に神奈川で行われるROBO-ONEに向けたロボットを製作しております。講義の合間の時間や放課後にキャンパス内の施設「すずよクリエイティブハウス」の2Fで製作しており、毎週進捗状況等を話し合いながらロボット制作に取り組んでいます。また、大学祭で電気自動車コンテストを開催するなど、学内の活動にも積極的に参加しています。

M.C.F. の魅力は自分たちで考えたロボットを実際に目に見える形にできることや、自分の所属していない学科の分野にも挑戦できることだと思っています。今年度のキャチロボバトルコンテストでは、目標の1勝は達成しましたが、本戦に進むことが出来なかったため、振り返りから出た点を改善し、来年度に向けてサークル一同頑張っていきます。

リーダー：理工学部 機械工学科 2年 木村 陽斗さん



先生のバックストーリー

飛田 和輝 教授 (知能メカトロニクス研究室)



■コンピュータ × 音楽 × オタク で大渋滞の幼～成人期
 幼年期(1980年ごろ)、我が家にグリーンディスプレイのマイコンがお越しになって以来、ベーシックマスターLEVEL3、MSXと進化?するもファミコンは消費onlyなため導入NG。しかし長じてからはむしろその方針に感謝。ドット絵を表示させるために16進数やBASICを勉強。夢はブルートレイン(寝台特急)の運転士。中学では合唱コンクールの伴奏や指揮。部活は吹奏楽部。運命の楽器トロンボーンに出会う。高校では古文・漢文に目覚める。情報系志望なのに高3の秋、とある大学祭で倒立振子やロボットマニピュレータの実演を見て、運動方程式がリアルに制御されている!と興奮し、志望学科を制御系にごそつと変更。大学では勉強とオーケストラを両立。研究なる面白そうなものが1年で終わるのは勿体ないと思いデフォルトで進学。恩師からのお声がけにその気になり博士課程へ。企業で研究開発経験を積んでから教員になりたいと思い、いろいろチャレンジ(テレビにも出演)した後、2018年に本学着任。

■「正しい」は変わってしまうが

「好き」「楽しい」は信じられる

専門分野は、①計測工学②メカトロニクス③ロボットへのAI応用。3つめは時代と都合に合わせて変わります。とにかく素敵な動きをするものが好きです。素性の良いメカニズムでできた機械が、回路やソフトウェアにより息を吹き込まれる瞬間は感動します。まるで魔法のよう。大学教員になりたかったのは、若い人たちが昔の自分のように感動する、楽しくなるのを身近で見るのが好きだからということが大きい。恩師の言葉で「楽力は学力」という言葉があります。これは、学ぶことや作業することを楽しくしてしまう能力を「楽力」と呼び、この「楽力」こそが学力や創造力の源泉であるというものです。本学の学生さんもぜひ「楽力」を意識してほしいです。仕事の夢なのは、博士課程の学生を指導したい!雑用を察して頑張る学生さんと協力して論文実績を積み上げます。最後に、卒業生が元気で活躍しているのを知ると嬉しいです。これを読んだ卒業生のみなさん、ぜひ遊びに来てください。

所属 職位 理工学部 機械工学科 教授
 出身 地 東京都中野区
 簡単な経歴 電気通信大学大学院 機械制御工学専攻 博士後期課程を修了後、日本精工株式会社を経て、2018年に本学に着任。
 趣味 ドライブ、サイクリング、鉄道、旅行、写真、音楽など
 座右の銘 慈悲喜捨
 愛読書 この世はすべてコミュニケーション ～細胞から外まで～



▲万博といえば、つくばです



▲ジュリアード音楽院の先生のレッスン受講



▲国際会議で受賞



▲夫婦で乗鞍ゆくりヒルクライム

第55回 研究室訪問 イメージング集積回路・システム研究室 (理工学部電気電子工学科)



電子の眼とも呼ばれる CMOS イメージセンサは、スマートフォン、パソコン、自動車、ドローン、医療機器、家電、セキュリティシステムなど、あらゆる用途に幅広く使用されています。本研究室では、カメラの中核部であるイメージセンサの高機能化・高性能化により、人の眼では捉えられない距離や生体情報などの情報を取得できる新しいスマートなデバイスの研究をしています。

主な研究テーマとしては、距離と色を同時に計測する低消費電力長距離 RGB-D ハイブリッド飛行時間型 (hToF) CMOS イメージセンサ。マルチ ToF カメラの干渉、シングルスロープ型列並列 A/D 変換方式 (SS-ADC)、センサーインターフェース、ハイダイナミックレンジ (HDR) センサー、光通信イメージセンサと生体イメージング等。

研究室に配属された学生は、集積回路設計・シミュレーション、プログラミング、回路設計、FPGA 設計・シミュレーション、試作機製作、実際の CMOS イメージセンサの動作・評価、光学などの幅広いスキルを習得してもらい、同分野における技術者として社会で活躍できる力をつけてもらいます。

研究室学生からひとこと

研究室では、幅広い用途で利用されている CMOS イメージセンサの高性能化・高機能化を目標に、設計、開発、測定に関する研究を行っています。私は、CMOS イメージセンサ内部の回路の改良および設計を通じて、海中で使用でき、距離と色を同時に測定可能なイメージセンサの開発といった研究に取り組んでいます。研究拠点は、静岡大学の光創起イノベーションにあり、様々な方々と共同研究を進めています。そのため、ここでは専門的技術力だけでなく、貴重なつながりや経験ができます。イメージセンサやデバイス開発に興味がある方は、ぜひ研究室に見学に来てください。



電気電子工学科4年 飯沼 歩夢さん

研究室担当教員 Mars Kamel 先生

チュニジア出身。2003年にチュニス大学工学部卒業、2008年に静岡大学修士課程、2012年に同大学博士課程を修了。2011年より静岡大学電子工学研究所にて学術研究員、2017年から同研究所および東京工業大学にて特任助教、2022年より静岡大学電子工学研究所 特任准教授を務める。2024年5月から静岡理科大学電気電子工学科 准教授、静岡大学電子工学研究所 客員教授。高性能Time-of-Flight (TOF) CMOSイメージセンサとその応用に関する研究に従事。

イベントレポート 2025.8-12

01 2025. 8/23 Sat.

袋井市共催 市民体験入学

本学にて市民体験入学を開催しました。全体講座ではかつて16連射で一世を風靡した高橋名人に、『楽しく遊び、楽しく学ぼう』をテーマにご講演いただき、当日は104名の参加者に来学いただきました。選択講座では、本学の教員が講師となり体験講座6つを含めた8講座を実施し、受講者はそれぞれ希望する講座へ参加しました。

参加者からは「選択講座では実体験を通じて知識を得ることが出来て大変良かったです。」等の感想をいただきました。



02 9/1 Mon.

浜松商工会議所×静岡理科大学 人材育成をテーマとする 意見交換会

本学と浜松商工会議所の共催で「地域産業界に真に必要な人材を育て、輩出するために」をテーマとした意見交換会を開催しました。当日は商工会議所会員企業33社と本学学長および副学長をはじめとする大学教員ら7名が一堂に会し、地域産業界で活躍する人材の育成について協議しました。意見交換会では「学生のうちに成功、失敗の体験を積める場が必要」などの意見が出されました。



03 9/20 Sat.

3DプリンタでDIYを楽しもう! (SIST体験型講座)

地域の皆様が気軽に理科やものづくりなどに親んでいただくSIST体験型講座「3Dプリンタを使ってDIYを楽しもう」を静岡理科大学で開催しました。当日は10名が参加し、3Dプリンタの仕組みなどについて説明を受けた後、実際に3Dプリンタに触れたり、制作物を設計したりしました。参加者からは「子供の勉強になりよかった。」や「3Dプリンタが意外に安くて驚きました。」などの感想をいただきました。



04 Pick up イベント 10/25 Sat. ~26 Sun.

大学祭SISTIVAL&令和7年度 第2回公開講座

大学祭実行委員会主催の大学祭SISTIVALを開催しました。26日(日)には同窓生が集結するホームカミングデイの他、子供向けのイベント、お笑い芸人「JP」による爆笑ライブなどを開催し、お昼時には学生団体による出店や本学にお越しただいたキッチンカーに長蛇の列ができていました。

また「おいしい食卓」をテーマに、令和7年度第2回公開講座も開催しました。第一部では「発酵食品でおいしい食卓を～腐敗と発酵のはざまのはなし～」のテーマで物質生命科学科の宮地竜郎教授が、第二部では「品質と認定」おいしさだけではない国際品質への挑戦」のテーマで株式会社Foods R&D代表取締役が講演を行いました。参加者からは「身近なテーマで大変参考になった。」などの感想をいただきました。

大学祭には2日間で約1300名に会場いただき、子供から大人まで多くの方に本学の大学祭SISTIVALをお楽しみいただきました。





★ 今を究める理工科大生

在学生 **三輪 龍英さん**

理工学研究科 材料科学専攻 2年 天然物化学研究室

高校時代に抱いていた将来の目標は、医薬品の研究や開発に携わることでした。その思いから、研究室配属では迷わず天然物化学研究室を希望しました。現在、海洋生物資源から新規化合物を発見し、機能性や活用方法を模索する探索研究を行っています。研究室に所属して感じた強みは「自由な研究環境」にあります。研究費の削減が問題視される昨今にあって、指導教員は教育と研究に対してであれば躊躇なく資金を提供してくれます。私は、学部生からの3年間で国際学会（北海道）、国内学会（沖縄）および討論会（長野）に参加しました。また、研究から得た知見を特許出願し、学術誌に筆頭著者として原著論文を公表することも叶いました。

最も楽しかったことは、野外調査で訪問した琉球大学や、短期国内留学した大阪公立大学に所属する大学院生たちと交流できたことです。このように自由な研究環境で実験の楽しさに魅了されたことで、他大学の博士課程に進学し、農薬の化学合成に挑戦することを決めました。幸い、日本学術振興会の特別研究員(DC1)に採用内定をいただいたので、金銭面の不安なく実験に没頭できます。当初思い描いていた目標と方向性は幾分異なるものの、夢実現に近づいていると実感しています。



▲討論会を聴講



▲沖縄での野外調査

授業の紹介



「測量学」・「測量実習」

土木工学科 教授 松本 健作

土木工学科では「測量学」及び「測量実習」により測量の知識と技術を身に付けるための授業を行っています。土木工学では、フィールドに大規模な建造物を建設することが求められるため、長距離・広範囲を高精度に計測する「測量」という特殊技術を身に付ける必要あり、そのための座学と実習を行うのがこの2つの授業です。

この測量分野は、土木工学のなかでも特に高度情報化技術の発展が目覚ましく、そのため、実務において求められる技術も大きく様変わりしている業種といえます。人工衛星を用いたりリモートセンシングや近年注目を集めているUAV(ドローン)を用いた測量もそのうちの1つです。土木技術者には、これらの先端的測量技術を使いこなし、環境問題や防災対策も含め「地球を丸ごと精密に測る」ことが求められる時代となっております。このため本学の測量学では、従来は含まれていなかったドローン実習などの先端的な学びも授業のなかに取り入れています。

★ 社会で輝く卒業生

卒業生 **【スズキ株式会社】名久井 太一さん**

情報学部 情報デザイン学科 卒業

学生時代は情報デザイン学科の本多研究室に所属し、心理学に関する研究を行っていました。研究では人間の感情や行動を分析し、パターンや傾向を明らかにすることが非常に興味深く、印象に残っています。

現在は心理学とは一転して、自動車に搭載されているAT(オートマチックトランスミッション)の制御設計に携わっています。ATとは、自動車のギヤを自動的に変速する装置で、燃費の良さや変速のスムーズさなど、求められる性能は多岐に渡ります。ATの制御設計は、自動車の走りに直結し、お客様の評価にも影響するため大きなやりがいを感じています。また、年々強化される環境規制に対応するためにも、ATの制御は重要な役割を担っており、大変さを痛感しています。

一見、ATの制御設計は心理学と関わりがないようにも感じますが、より良い製品を開発しお客様の感情を動かす、という点では心理学と通じる点もあると思います。

電動化など、自動車業界は100年に1度の変革期とも言われていますが、乗って楽しいモビリティを今後お客様にお届けできるように、尽力したいと思います。



▲ジャパンモビリティショーで、スズキGSX-R1000に跨り記念撮影



05 11/1 Sat. ~3 Mon.

防災教育センター主催
「まちあるきで学ぶ防災～能登半島地震被災地におけるインフラ調査～」

「まちあるきで学ぶ防災～能登半島地震被災地におけるインフラ調査～」を静岡県内の高校生を対象に開催しました。今回は本学防災教育センターの中澤博志センター長と高校生18名が、石川県かほく市・輪島市・穴水町・七尾市などの被災地を訪問しました。3日間のプログラムを通じて、震災による液状化被害、建物被害の他、道路や橋梁などインフラの被害の調査や、液状化対策の実証実験の見学を行いました。



06 11/8 Sat. 他

ひらめき☆ときめきサイエンス

理科実験教室「ひらめき☆ときめきサイエンス」を開催しました。この事業は、小学5年生～高校生を対象に、大学や研究機関で行われている最先端の研究成果を「直に見る、聞く、触れる」ことで、科学のおもしろさを感じてもらい日本学術振興会の助成により実施しているプログラムです。今年度は4つのプログラムを開催し、参加者の皆様に、本学の研究の魅力を体感していただく機会となりました。

- 2025 11/8 **温度や光で変身!**
不思議なプラスチックに触れてみよう
【物質生命科学科】教授 小土橋 陽平
- 11/8 **抗菌・抗ウイルスグッズを作ってみよう!**
～天然由来の染料および香料の再利用～
【物質生命科学科】准教授 鎌田 昂
- 11/22 **建物 vs. 地震**
～建物は地震でどんな被害を受けるの?～
【建築学科】教授 崔 琿
- 2026 1/25 **土ってこんなに変化するの?**
液状化について一緒に学び体験しましょう!
【土木工学科】教授 中澤 博志



07 11/9 Sun.

島田掛川信用金庫×静岡理科大学 主催
未来創造たまご塾

本学と島田掛川信用金庫の共催で、地域の高校生・大学生・企業を対象とした教育プログラム「未来創造たまご塾(企画運営: (株) ドングルス)」を開催しました。このイベントはこれからの時代に求められるアントレプレナーシップ(起業家精神)を育むための企画であり、世代を越えた参加者がグループとなり、カードゲームを通じて学校の授業では教えることが出来ない「どうやって稼ぐか」を考えました。また第二部の交流会ではグループで地域産業や自身の未来についてディスカッションを行いました。



08 12/7 Sun.

冬休み体験研究室
in藤枝

藤枝市生涯学習センターで、「身近にあるものを使って楽しく実験しながら、モノの仕組みを学んでみよう」をコンセプトに、本学学生が講師となり「冬休み体験研究室in藤枝」を開催しました。当日は97名の小学生に参加いただきました。

今回は「LEDを使用したキャンドル作り」や「VRゴーグルの体験」、「回転寿司のシステムをモチーフとした電気教室」など9つのプログラムを実施しました。遊びながらモノの仕組みを考える小学生の眼差しがとても印象的でした。



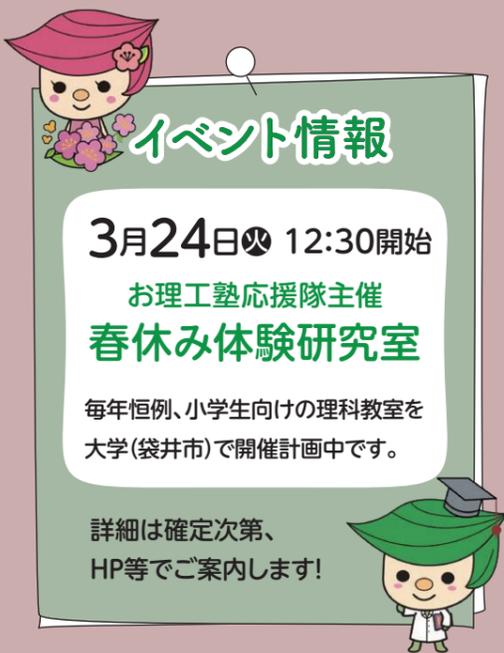
09 12/20 Sat.

未来の科学技術者
フェスティバル

アクトシティ浜松で、小学生から高校生を対象とした「未来の科学技術者フェスティバル」を開催しました。会場は展示会形式で27のブースを設営し、出展者の高校、大学、企業がそれぞれの特色や技術を体感できるブースを出展しました。参加者はそれぞれのブースを訪れ、オリジナルグッズを作ったり、プログラミングでロボットを動かしたりと、静岡県が誇るモノづくりの技術に触れていただきました。

参加者からは「高校生や大学生のお兄さんやお姉さんが優しく丁寧にサポートして教えてくれたのでよかったです」などの感想をいただきました。





イベント情報

3月24日(木) 12:30開始
お理工塾応援隊主催
春休み体験研究室

毎年恒例、小学生向けの理科教室を大学(袋井市)で開催計画中です。

詳細は確定次第、HP等でご案内します!



読者アンケート & プレゼント

キャンパスニュースに関するアンケートにお答えいただくと、抽選で10名に記念品が当たります。なお抽選結果は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募フォームからアンケート項目に回答ください▶



回答期限:5月31日

人事異動 令和7年着任教員の紹介

【コンピュータシステム学科】特任講師 **田山 直** 令和7年5月1日付採用
 専門分野：コンピュータサイエンス、没入型体験技術、複合現実システム
 略 歴：流通、WEB系のシステムエンジニアを経た後、株式会社アルファコードに入社。同社でVR動画配信プラットフォームのサーバ・クライアントアプリ開発等に従事しつつ、クロスアポイントメント契約により、本学特任講師に就任。
 趣 味：プラモデル制作、ラジコン、サイクリング

【機械工学科】講師 **三原 裕介** 令和7年7月1日付採用
 専門分野：システム最適化、航空機設計、マルチエージェントシミュレーション、システムズエンジニアリング
 略 歴：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 前期・後期博士課程を修了した後、ボッシュ株式会社 技術戦略部を経て、本学講師に就任。
 趣 味：野球観戦、ワイン、ジム、ゴルフ

【コンピュータシステム学科】講師 **南川 智都** 令和7年10月1日付採用
 専門分野：離散最適化、アルゴリズム論
 略 歴：東京工業大学大学院工学研究科修士課程博士後期課程を修了後、東京都立大学経済経営学部経済経営学科助教に就任。その後、成蹊大学理工学部理工学科助教を経て、本学講師に就任。
 趣 味：パズル、カメラ

海洋DX 担当教員の紹介

【大学院】教授 **高橋 桂子**
 専門分野：地球環境工学、地球環境流体学、大規模並列計算科学
 略 歴：東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程修了後、国立研究開発法人海洋研究開発機構を経て、早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構 上席研究員・研究院教授、本学大学院理工学研究科教授に就任。
 趣 味：読書、音楽鑑賞、計算と解析

【大学院】教授 **峯田 克彦**
 専門分野：ゲノム科学、進化遺伝学、ハイオインフォマティクス、マリンインフォマティクス
 略 歴：総合研究大学院大学博士課程修了後、北海道大学准教授、アブドラ国王科学技術大学主幹研究員、早稲田大学大学院教授等を経て、本学大学院理工学研究科教授に就任。
 趣 味：旅行、食べ歩き、温泉巡り

【大学院】特任教授 **喜多 隆介**
 専門分野：酸化電子材料、超伝導工学、薄膜工学、結晶成長、金属材料
 略 歴：京都大学大学院工学研究科修士課程金属加工工学専攻修了後、シャープ株式会社、超伝導工学研究所、静岡大学工学部電気電子工学科教授、同工学部長等を経て、本学大学院理工学研究科特任教授に就任。
 趣 味：ウインドサーフィン、スキー、ドラム

同窓会だより 同窓会30周年記念総会を開催しました!

昨年、11月22日(土)、静岡駅前キャンパスにて「静岡駅前キャンパスだヨ! 全員集合」を行いました。総会では、宮川同窓会長のご挨拶、木村学長から大学の近況報告を行った後、元プロ卓球選手の水谷隼氏による「打ち返す力」をテーマとした記念講演を行いました。人生の選択と決断、高いモチベーションを保つ秘訣、挫折や困難を打ち返す経験など、貴重なお話を伺いました。講演後は、卒業生交流会とキャンパスツアーを行い、同窓生との再会を喜びつつ施設を見学しました。

ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。今後とも同窓会活動へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



後援会だより 保護者懇談会の開催

昨年、10月25日(土)に「保護者懇談会」を開催いたしました。全体会では服部後援会長より御挨拶をいただき、後援会の活動状況及び、今年度のキャンパス内環境整備計画についての報告がありました。

さらに本懇談会では、人材サポート有限会社代表の長崎一朗氏をお招きして「静岡県の大学生の就職をめぐる状況と保護者に求められる対応について」と題したご講演をいただきました。最近の企業の動向やトレンドに関する説明から始まり、企業の採用担当者の本音や保護者として学生とどの様に接したら良いかなど、分かりやすく説明していただき、来場された方々も熱心に耳を傾けていました。

また、希望された方に対して懇談会終了後に助言教員との個別面談を行い、修学状況や就職活動状況、学生生活等について直接相談ができる貴重な機会となりました。

全体会における木村学長の大学紹介▶



オープンキャンパスへのご来場誠にありがとうございました!



日頃から多くのご支援、ご理解を賜り誠にありがとうございます。2025年のオープンキャンパスの全日程が終了いたしました。今年は、過去最多となる1,600名以上の皆様にご参加いただきました。

改めて厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。本年もより多くの皆様に「静岡理科大学に来てよかった。」と感じていただける更に充実したオープンキャンパスを目指し、尽力してまいりますので、よろしく願い申し上げます。

2026年最初のオープンキャンパスは、**3月29日(日)**に実施いたします。皆様にお会いできることを心より楽しみにしております。

SNS絶賛更新中です!

静岡理科大学の日常🌞や理工科大生の活躍🌟、先生方の研究活動🔬など、理工科大の魅力を発信しています!

オープンキャンパス当日の様子もあげておりますので是非ご覧ください!



他の投稿はこちらから!

COLUMN 遠州灘

新しい年が始まる1月は、「変わりたい」と願う時期である。この原稿を執筆した10月6日の前日には、「変われ、自民党」という言葉を掲げた自民党総裁選が行われていた。あれから三か月余り、今の日本はどのように変わっているのだろうか。

変化を求める声は、政治の世界に限らない。大学にもまた、その波が押し寄せている。少子化や生成AIの普及など、高等教育を取り巻く環境が激しく揺れていることは周知の通りである。だが、変化とは単なる刷新ではなく、何を守り、何を手放すのかを見極める営みでもある。大学は「変わる」と「変えない」の線を、どこに引くのが問われている。新しい年のはじめに、私たち一人ひとりもまた、その問いを静かに胸に置きたい。(H)

編集後記

今号のキャンパスニュースでは、地域連携協定の締結や研究室での先端研究、学生サークルの挑戦、さらに小中高生向けの体験講座など、本学が地域とともに多様な学びを育てている姿を紹介しました。取材を通じて印象的だったのは、学生・教員・地域の皆さまがそれぞれの立場から「知を育てる」という思いを共有し、その積み重ねが確かな広がりを生み出していることです。研究室での探究やイベントのにぎわいの裏側には、一人ひとりの情熱と工夫が息づき、大学という場が豊かに機能していることを改めて実感しました。本誌が、読者の皆さまに本学の今と未来への歩みを温かくお届けする一助となれば幸いです。今後も丁寧な情報発信に努めてまいります。(M)

静岡理科大学キャンパスニュース
 令和8年1月31日発行
 企画・編集・発行/静岡理科大学大学広報委員会
 〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2
 TEL.0538-45-0111 FAX.0538-45-0110
 https://www.sist.ac.jp E-mail:shakai@sist.ac.jp